

中部APRA 6月定例会 報告書

日時：平成30年6月25日（月）

時間：18：30～20：30

会場：クリエート浜松53会議室

中部APRA6月定例会を浜松で開催しました。

今回で3回目となる感コン説明会に17名の方のご参加をいただきました。

井上会長より、昨日のサッカーワールドカップの試合より、「ニッポンいけるんじゃない!!」という気持ちが、企業でも同じであり、気合の入れ方、日々のプロセスの大切さのお話をいただきました。

★ 事務局 内田さん

APRAについての説明

台湾よりスタートしたAPRA。後藤新平先生の台湾統治の方法をコンサルタントに生かしています。

後藤新平先生の言葉より、人本主義、大家族経営について、志高い同志でつながり、何かで地域一、業界一、日本一、世界一を目指す集まりです。

差別化は生まれているか？昨年のカンコンの様子、感動経営7つ道具、カンコン審査基準についてのお話です。 基準は理念・5S・ESレベル・CSレベル・社会性 の5つがポイント

★ 野村開発株式会社 代表取締役社長 野村さま カンコンについて取り組み

不動産業としてアパート管理等を経営する会社で創業51年目。カンコン出品は何をどうしたら良いか分からないところからのスタート。従業員のネガティブな反応、お客様との仕事の方が先だという意見がある中、まずネタ探し。期限があることで、そこを目指して何とか探そうとします。このネタ探しを通じて得られたことは、良いところ探しが上手になったこと。

従業員同士、また他社のよいところにも自然に目がいくようになった。そして、わが社の振り返りができます。理念を掲げていても、感動がいいと言っているも本当にちゃんと時間とコストをかけた努力がなされているかを考えることができます。また、会社はチームです。自社を知ろうとすることから、バックヤードがつながっていることを理解し、よりお互いを知り助けあうことが自然にできるようになります。

ネタは、創業の思い、社員の成長など何気ない日常にフォーカスすることで出てきます。



★ ワーク

3つのグループに分かれて、創業物語、社員の成長、理念、より深い感動物語について意見交換がされました。



熱心にメモを取る姿

意見交換により皆さんの理解が深まり、更に興味を持って頂くことが出来たと思います



映像を見ながら感動物語の細部を研究する姿



理念の意味を真剣に考え語る姿

カンコン取り組みは、自社の振り返りと新たな発見と作品の誕生となります。

次回開催は、長坂養蜂場様へのベンチマーク見学会となります。7月31日(火)13時～

お問い合わせ先：中部APRA事務局 内田感動マネジメント 内田貴久 090-8473-8348